

日本の先端技術がルワンダの生花をカビ・腐敗から守る

～ルワンダ産 園芸作物の輸出拡大へ貢献～

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」においてインパクトワールド株式会社(東京都大田区、林佑二代表取締役)が提案する「除菌装置「eco-PACT」による輸出用園芸作物の高付加価値化を目的とした案件化調査」(ルワンダ国)を採択しました。

アフリカ中央部の高地に位置するルワンダでは、生花の輸出量拡大が目指されている一方、殺菌剤や殺虫剤などの入手が困難であるため、病気が防げず、十分な生産量を確保できていません。また、輸出前の管理においても、高温多湿な気候によりカビ類が発生しやすく、品質維持が困難となっています。

インパクトワールド社が開発した「eco-PACT」は、プラズマと触媒を融合した先端技術で、品質劣化の原因となるエチレングスを分解、カビ菌を滅菌するなどして、植物の品質保持期間の長期化を実現します。また、栽培工程における水素水噴霧を組み合わせることで、カビ菌や害虫の付着を防ぎ、より根本からの抑止も図ります。



除菌装置「eco-PACT」



茎にカビ菌が付着してしまった植物

本調査では、提案企業の所在する大田区と協働しながら、ルワンダ農業輸出振興局と協力し、提案製品の有効性の確認を行うとともに、提案するODA事業やビジネスモデルの実現可能性を明らかにしていきます。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部 中小企業支援調査課 海老沼(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp